



予読のすすめ

教室の向かいにある JFE 体育館の桜も例年より早く3月下旬にあっという間に満開になりました。厳しい寒さが続いたその後に急に暖かくなると桜の花もパッと目覚めるのだとか。新しい学校や新しい仲間と出会う月です。新しい自分にも出会えるといいですね。

さて、新入学あるいは新学年の学習をうまくスタートさせるために「予読」というキーワードを覚えておきます。といっても辞書に載っている言葉ではありません。私が勝手に作った言葉です。これから習う予定のところをあらかじめ勉強しておくことが予習ですが、自分だけするのはなかなか難しいものです。もちろん塾では少し予習のペースで進めますし、中3の数学などはずっと予習ペースを崩さないようにしていかないと入試には間に合いません。しかし塾で習っていない科目はなかなか手につかないでしょうし、全科目を実行する時間の余裕もないと思います。そこで予習ではなく予読の出番です。そのやり方とはいうと、まず寝る前に明日習う予定の科目を確認します。そしてそれぞれの科目について前回はどこまでやったかを教科書を開いて思い出します。あとは次に習うだろうというページを「予め読んでおく」だけのことです。その時に欲張って問題を解いたりはいらない方が長続きします。もっと軽い気持ちでとにかく継続を心がけるのがポイント。翌日の授業の時に「ああ、教科書に書いてあったことを先生はこう説明してくれるんだ」という気持ちの余裕が出て新しく習うことでもすんなりと理解できるはずです。だまされたと思って最低2週間続けてください。特に社会と理科には効果抜群ですよ。もちろん英語の単語を調べておくこともできたら言うことはないですが、これはもう予習のレベルですね。コツがわかって習慣にできたらそのレベルにもすぐに達することができるでしょう。

ところで、3/31の卒業ライブにはたくさんの卒業生やOB・OGにお越しいただきありがとうございました。震災の年から続く「津波遺児あしなが育英会」募金にもご協力いただき感謝です！